

第4回山上憶良短歌賞表彰式

平成28年3月27日（日）

第4回山上憶良短歌賞表彰式の開催、そして、受賞されました皆様おめでとうございます。また、選考などにあたられた関係者の皆様大変お世話になりました。

受賞されました皆様は、小学生、中学生、高校生、一般の部3552作品の中から選ばれました。応募も第1回の市内の小中学生1234作品から、回を重ねて、第4回は市内はもとより県内各地から応募がありました。

ところで、私たち議員がここにいるのか、表彰式とも関係があるので少しお話しします。先週の24日まで、3月議会がありました。市長さんから4月から来年の3月末まで倉吉市でやりたいことと予算についての説明がありました。市の職員さんへの質問や議員同士で話し合いをし、24日に議員の賛成多数で事業・予算が認められました。事業の中には、第5回（来年度）山上憶良短歌賞のこともありました。来年度は、これまでより何倍もの予算がついています。今年が、山上憶良が伯耆の国の国司（今の県知事）として来てから1300年の記念の年で、短歌の全国公募をすること、山上憶良に関する創作劇やシンポジウムも予定していることなどの説明もありました。そのため、私たち議員も関心があり、期待しているところです。

昨日、社にある歴史公園（伯耆国分寺跡）や隣にある法華寺畑遺跡、近くにある伯耆国庁（県庁）跡や国庁裏神社を散歩してきました。山上憶良が国司としてきた頃は、国庁は少し離れた不入岡のあたりだったようですが、憶良が県知事として忙しく県民のために働き、何を考えていたのだろうか等と思いをはせていました。57歳で倉吉に来て、4年間、憶良の短歌は残っていないようです。倉吉にいる間、短歌を作らなかったのか、作っても発表していないのか、ひょっとしたら遠く離れた家族のことを思って短歌をイメージしていたのかもしれません。そして、時が流れ、今、私たちは山上憶良に思いをはせながら57577の31文字の短歌を作っています。

受賞されました皆様方に改めてお祝いしますとともに、この事業が益々発展していくことを期待してお祝いの言葉といたします。